



三月ツツツ三月ト
りなまの、ロ八三の邊に中幅
子を描き置き、然るべきもの
百九一の線は、ロ十三に引き
る、又九下四部、手を着けゆ

八幡製鐵所の東京委員との 山本農相との會見

農相の答辯は 委員等一同を失望せしむ

委員等一同を失望せしむ

八幡製鐵所を代表した東京委
員等、山本農相との會見は十六日午
一時東京旅館紀元室で四條局長
と委員等、農友會の木村健吉
、東京委員、淺原三郎、工藤勇
、香田及日本坑夫組合
より具に
の意見であらうが
行政は大
八幡製鐵所は長官が上京して調査
の具體的報告が聞けるたらうと期
待して居る當局に於いても労働者
の正當にして合法的な運動は決し
て

否むもの
でない諸
君は今後漸進に労働者の向上を期
られ度し以上東京委員會見の眼目
させる要求箇條には何等屬する所な
く一同を失望せしめたり(東京)

それは...
凡そ世の中に身置の塵囂に居る
不幸は、自ら有りませぬ。
夫れが自らに折角人に賜れた天
賦の才能を有しながら、天
賦の才を動かさず、出来ず、
加く活動する事も出来ず、
の持ち勝つたたり、不成功
にして、身置が利かなく成り、
に終る。又家庭に在りても、主人が
一掃せしは、大責任に成り附いた

委員会

本年度の貿易の如き、或は
四億以上の入超を
見るや、計り難し、我最大の得
意たる米國の現状は如何、生糸
の如き米して今後好く今日の好
況を維持すべきや多大の疑問な
り、支那の状況亦邦貨排斥尚止
まず、彼是之を考察するに、蓋
し我國の經濟界は將に
反動期に入らんとす、
農相の所見如何、
と諸報に一致を顯ひ、次で産
業政策に就き農相に質問すべしと
て、論議を一時、

憲政提案說明

△藤澤幾之輔氏 本案
正の骨子は納稅資格の撤廢に
在り、現行法は納稅資格者のみ
選候補を與ふるが故に、有體
は僅々百五十萬人を出て、
米諸國の例を學び
今や普通選挙は世界の趨勢な
然るに我邦は今や五大強國に
入るに拘らず、依然制限選挙
を實施しつゝあるは世界
大勢に逆行するもの

詰問痛烈

當局の肺癆を抉る
今や世界は軍國主義の惡夢より
醒め、平和の世界を建設せんと
す、此平和の第一年に於て、我

白仁長官の 回答は不得要領

加藤勳十氏白仁長官を突込む
豫算は秘密を固持して語らず

既記の如く、農友會應援の爲め、
帷中なる東京毎日記者加藤氏は
去る十三日製鐵所白仁長官に會
見を求めたるに、長官は、快く之
れを詰し、同日製鐵所に於て第一
回會見を遂げ、大要左の意味の談
話を交換せしと云ふ
此日白仁長官は頗る温顔を以て
加藤氏に接し、少しも城府を設け
ざるしこの事なるが加藤氏は

人格を重視

▲人格を重視
が略を以て具表面のみの平和を
囑せん、するが如きことあらば
是れ精神上の破壊にして生産能
率は益々低下し、將來永久に負り
製鐵所の損失を免れざるべし、日
つ又今更返らぬことなれども、

開口一番述

開口一番述
て曰く
予は今日長官に進言せんとする
は、農友會の代表資格にあらざる
は、勿論新聞記者の立場からにも
あらず、単に一個人として公正の
見地に立ち誠意を披瀝して以て